

別紙2

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4 年 11 月 30 日

設置・運営主体	さいたま市		
設置主体	さいたま市		
経営主体	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団		
事業所名 (施設名)	さいたま市立 与野本町放課後児童クラブ	種別	放課後児童クラブ
所在地	〒 338-0003 さいたま市中央区本町東3 - 5 - 23		
電話	048-854-9332 (事務局分室 児童課 048-788-2601)		
FAX	048-854-9332 (事務局分室 児童課 048-788-2605)		
Email	yonohonmachi-jikura@blue.plala.or.jp		
URL	法人全体のURL <a href="https://www.saicity-j.or.jp/">https://www.saicity-j.or.jp/</a>		
施設長氏名	若松 隆 ・ 西川真理子		
調査対応担当者	小川徳子 (所属、職名：事務局分室 児童課)		
利用定員	50名	開設年	平成 元 年 10 月 1 日
理念・基本方針			
<p>○基本理念</p> <p>「共に育ち、共に育て、笑顔あふれる放課後児童クラブ」を目指します</p> <p>①「共に育ち」とは</p> <p>放課後児童クラブにはクラスの違う子ども、学年の違う子ども、学校が違う子どもなど、学校 の生活とは違う子ども同士の関わりがたくさんあります。お互いの違いを認め、関わり合うこと で共に育つことができる場であることを目指します。</p> <p>②「共に育て」とは</p> <p>子どもたちが健やかに育つように、子育ての主体者である保護者とクラブの職員、学校を始め とする地域の方々と、共に育てて行くことを目指しています。また、仕事と子育てを両立する保 護者の皆さんが、共に支え合いながら自らの温かな心で子育てすることができるよう目指してい ます。</p> <p>③「笑顔あふれる放課後児童クラブ」とは</p> <p>子どもたちが共に育ち合い、保護者の皆さんが子どもの成長を共に見守り喜びを共有してい くことができ、誰もが笑顔となる放課後児童クラブであることを目指します。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	<p>小学校の授業のある日…放課後から午後7時まで</p> <p>小学校の授業のない日(学校長期休業期間等)…午前8時から午後7時まで</p>		

### 【利用者の状況に関する事項】

○放課後児童クラブの場合

	利用児童数	クラス数	定員	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均支援員数
小学1年生	24	—	57	—	—
小学2年生	29				
小学3年生	2				
小学4年生	2				
小学5年生	0				
小学6年生	0				
計	57		57	—	—

(注) 1クラスあたり平均支援員数は放課後児童支援員のほか補助員を含む。

### 【職員の状況に関する事項】

○放課後児童クラブの場合

支援員数	6人
うち	
放課後児童支援員	3人
補助員	3人

### 【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)
特になし

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

7人

・ボランティアの業務

クラブのイベントへの参加	・人形劇 5名
	・マジックショー 2名

## 【実習生の受け入れ】

・令和 4 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

## 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○放課後児童クラブの場合

(1)建物面積 (放課後児童クラブ 使用面積)	104.84 m <sup>2</sup>	
	児童 1 人あたり	1.83 m <sup>2</sup> (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(3)建築(含大改築)年	令和	2 年

## 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

年1回、児童と保護者それぞれに利用者アンケートの提出をお願いしている。

「みなさまの声」の投書箱を設置し、保護者から子どもまで自由に記入も可能となっている。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

児童の正しい言葉づかいを身に付けられることを指導目標としており、職員は子どもの手本となるようことを心がけ、常に丁寧なやり取りをするようにしている。

正しい言葉でのコミュニケーションを身に付けるために「ぽかぽか言葉とひえひえ言葉」のポスターを掲示し、保護者や児童にも理解を促進できるように取り組んでいる。

## 【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

0 回 (平成 \_\_\_\_\_ 年度)